

令和6年度事業計画

《事業活動方針》

昨年度は、新型コロナが5月に5類感染症に移行したことにより、観光業界のみならず様々な業界において、コロナ禍前と同様の日常を取り戻した1年でありました。

特に、プロ野球やJリーグの春季キャンプでは、県内外から多くのファンの皆様が本市を訪れ、巨人、ソフトバンク、オリックスのキャンプ地には、3球団合計で約65万人が来場して大変な賑わいを見せるとともに、連日各メディアでも報道されるなど経済効果の大きさを再視認させられた1か月となりました。

コロナ禍の3年間で、人々の行動様式・生活様式・労働様式はそれぞれ大きく変化しています。今年度も、ニーズが多様化していることを念頭に観光業が持続可能な形で「稼ぐ力」を高める取り組みを強力に推進して行きます。

中でも、インバウンド誘客を推進するため、直行便が再開した韓国を中心とする東アジア向けの取り組みはもちろんのこと、欧米豪や東南アジアからの新たな誘客を視野に入れ、それぞれのニーズにあった施策の構築を図ります。

また、旅行や観光地の情報を得るうえで必要不可欠となっているデジタルメディアの活用などを中心とした情報発信についても更なる強化を図り、体験・アクティビティメニューの磨き上げや宮崎の食の発信に努めます。

本市にとって欠かすことのできないスポーツキャンプの受入については、既存施設に加え、昨年オープンしたアミノバイタルトレーニングセンター宮崎や来年度にオープンする予定の県のプール、全面改修が予定されている県のテニスコートなどの新しい施設も活用し、「スポーツランド宮崎」の更なる推進に取り組んで行きます。

さらに、昨年度に引き続き、1年を通して少しでも繁閑差を無くすため、閑散期の誘客を図るコンテンツづくりに努めるとともに、地域一体のとなった取り組みとして「青島・一ッ葉・ニシタチ」を中心とした観光客の誘客・受入体制の充実を図ります。あわせて、観光庁が推進する観光地域づくり法人（DMO）(Destination Management/Marketing Organization)登録の検討を行います。

本年度も、会員の皆様のご協力をいただきながら、県・市をはじめ各観光協会や関係機関と連携を図り、当協会独自の柔軟な発想から生み出す力を本市の観光創造に生かし、観光誘客のために様々な事業に取り組みます。

各事業は、公益法人認定基準に準じ、事業グループ毎に分類。

公益目的事業

公1. 誘致活動事業

1. 観光客誘致拡大事業

年間を通じ本市への観光誘客を図り、本市の観光入込客数、宿泊者数増加に繋げるため、新しい観光の流れを見据えた観光コンテンツづくりと観光素材を生かした旅行商品のための研究開発・造成支援、情報発信、旅行会社へのセールスが必要である。航空会社や旅行会社とタイアップした誘客企画、効果的なセールスを実施するとともに、ターゲットや時期を絞った継続した旅行商品の造成、魅力的な旅行商品の造成支援、さらにはデジタルメディアを活用した新たな集客方法を取り入れた商品に対して支援を行う。

(1) 国内観光誘客推進事業

旅行会社タイアップ事業

旅行会社や航空会社等への効果的なセールス活動を実施するとともに連携を図り、本市への誘客に努める。誘客を促進するターゲットや時期を絞った旅行商品造成、デジタルメディアを活用した商品造成に繋げ、観光入込客数や宿泊者数の増加に努める。

2. 教育旅行支援事業

宮崎県教育旅行誘致推進協議会の会員と共に県内関係機関が一体となった「オールみやざき」で県内外の誘致受入事業を展開し教育旅行の誘致に努める。旅行会社に対して誘客プロモーションを展開し、宿泊・体験プログラムを通じ宿泊者数の増加を図る。

(1) 教育旅行推進事業

教育旅行に対し、市内に宿泊する場合の宿泊補助と市内に宿泊した場合のみみやざき元気体験プログラムの体験補助を行う。教育旅行を通じ体験型観光の推進と体験プログラムの充実を図る。

宿泊補助は、1人あたり一律2,000円、体験補助は、1人あたり上限3,000円。

3. 観光情報発信事業

本市の「豊かな食」、「恵まれた自然」を活かし、観光やグルメ、温泉、体験、イベント等の情報を旅行雑誌や新聞掲載、ビジョン広告等の各種媒体や各種メディアを活用した情報発信、イベントを絡めた新たなアプローチ、効果的な観光プロモーションによる幅広い年齢層へのPRを通して、宮崎への旅の動機づけを喚起させ誘客に努める。

観光客のニーズにあわせた効果的・効率的な手法として、WEBやSNS等のデジタルメディアを活用した情報発信の強化、戦略的な観光誘客で観光客のニーズを的確に捉えた効果的な事業展開、さらには、継続的なインバウンド対策の強化を図り、本市の認知拡大と誘客効果の向上及び観光消費額の増加に繋げる。

(1) 観光プロモーション推進事業

①メディア連携情報発信事業

将来的な誘客に繋がる効果的なプロモーションに努め、県外の滞在顧客層をターゲットに本市のイメージUPや認知度向上を図る。主要メディア等の連携やタイアップ企画の実施、WEB媒体・SNS等のデジタルメディアを活用した情報発信をはじめ、旅行会社や観光企画媒体への広告掲載等も行う。

②メディア連携情報発信事業

デジタルメディアを活用した情報発信 <新規>

宿泊者の行動や嗜好性にかかるデータが取れていないことに起因する課題の解消のため、域内の宿泊・回遊をカバーするデータ基盤をGoogle Business Profileを活用し、蓄積した顧客データの分析・活用したマーケティングを実行し周遊・長期滞在・客単価を向上させ、観

光消費額の向上を狙う。

③イベント関連プロモーション事業

本市の魅力ある観光資源や各種イベント情報など話題性のある旬の素材など幅広く国内外に発信するため、交通関係のプロモーションイベントを軸に、各地域間を繋ぐ交通機関と連携し、さらなる誘客を促進するためのキャンペーン展開やターゲットを絞った戦略でWEBやSNS等を活用した情報発信を行う。

連携事業者：ソラシドエア（中部国際空港、羽田空港）、ピーチ（伊丹空港）

ジェットスター・ジャパン（成田国際空港）、JR九州（JR博多駅 等）

宮崎カーフェリー（神戸港、三宮エリア）

（2）観光魅力情報発信事業

①ホームページ・SNS情報発信事業

昨今、情報収集手段が、紙媒体からモバイル端末を活用したWEBへ移行している。協会ホームページやSNS（Facebook、Instagram、X（旧Twitter））を活用し、マーケティングに基づく戦略で観光入込客数と観光消費額の増加に繋げるため、観光客のニーズを的確に捉えた効果的かつ有効的な情報発信に努める。WEBを活用したインバウンド向けの情報発信、ホームページ内の特集記事等の充実、プレゼントキャンペーンを活用したSNSでの情報発信など、本市の魅力を国内外に効果的・効率的に発信し、観光入込客数の増加に努める。

（3）宮崎で遊ぼうクーポン事業

本事業は、利用者や参画施設の利便性向上、ペーパーレス・人的作業の簡略化を進め、より持続可能な事業を目指し令和5年度より、従来の紙クーポンを廃止し、完全デジタル化へと移行。県内の各観光協会の協力もあり、現在では22施設・約60種類のアクティビティを一つにまとめた観光コンテンツとなっている。本クーポンの利用者数増加を目指し、観光客の周遊性・滞在性を向上させ、宿泊客数増加に向けた取り組みを行う。また、アクティビティの充実を図り、宮崎の観光資源のPRに努める。

（4）インバウンド関連事業

①インバウンド誘客強化事業 <新規>

国内インバウンドを取り巻く状況は、コロナ前と比べて観光客数、消費額ともコロナ前を上回る状況になりつつある。本市においては、令和5年（2023年）9月に韓国（仁川）との国際定期便は再開したものの、来訪者数、消費額ともコロナ前までの回復には至っておらず、インバウンド客のニーズも多様化してきている。今後、インバウンド客の本市への誘客を促進するため、インバウンド客の満足度を向上させるための環境整備とともに、定期便のある韓国等の東アジアのほか、米国、欧州等の新規開拓を行う。

②インバウンド市場テストマーケティング事業 <新規>

訪日外国人観光客数がコロナ前を上回り、今後を見据えたインバウンド誘客の強化が必須である。世界情勢に柔軟に対応し、機を逃すことなくインバウンド誘客や宮崎製品の海外への売り込みを図るため、本市での宿泊者数が6位のシンガポールを対象に宮崎製品の販売や旅行商品を行うライブコマースの配信、宮崎への旅行商品のテストマーケティングを行いシンガポールにおける嗜好品等について検証し、今後の新たな旅行市場開拓と本市への誘客への取り組みに繋げる。

4. 観光資源活性化事業

県内の観光地と連携を図りながら、本市の魅力ある観光資源を活用した事業や新たな観光素材の開発、幅広い観光客層をターゲットにした誘客事業を展開する。

滞在型観光を推進し、宮崎ならではの「自然」「伝統」「文化」「食」等を取り入れた特色・魅力ある体験プログラムを提案、受入することで、観光客の誘致に努め、観光による地域振興に寄与する。

（1）体験プログラム受入事業

滞在型観光を推進するとともに、宮崎の魅力を再発見してもらうことを目的に、マリンスポーツなどの宮崎ならではの豊かな自然、宮崎の伝統、文化を取り入れた魅力あるプログラムを提供し、修学旅行生や一般観光客の受入れを行う。

5. 広報宣伝活動事業

宮崎への誘客を図るため、本市の「自然」や「イベント」「食」「文化」などを幅広くPRし「観光宮崎」の魅力発信に努める。さらには、宮崎の魅力ある景観を素材にした観光名刺の販売、各種イベントを記載した機関紙等の配布など、様々なツールを活用し宮崎の観光情報を全国に発信し誘客活動を行う。

(1) 宮崎サンシャインレディ観光PR事業

観光客の誘客を促進し本市のイメージアップを図るため、観光宮崎の親善使節として県内外での観光宣伝、各種大会、イベント等に参加し、宮崎を幅広くPRする。

令和6年(2024年)6月30日をもって宮崎サンシャインレディ及び宮崎観光親善レディを廃止する。

(2) 観光名刺印刷・販売

魅力ある宮崎の観光地を全国に発信するため、宮崎市内の主な観光地(5種類)がセットになった名刺台紙と宮崎が誇る景勝地・青島の名刺台紙2種類の販売を行う。

(3) 機関紙「Mコミュニケーション」の発行

会員との連携を図るツールとして機関紙を発行。

6. 国内外観光交流事業

当協会は、平成16年(2004年)に中国山東省青島市文化和旅游局、昭和62年(1987年)に(一社)旭川観光コンベンション協会、平成29年(2017年)に(一社)檜原市観光協会と友好盟約を締結していることから交流事業を実施し、本市の観光情報の発信はもとより、国内外からの観光誘客に努めるとともに地域経済の発展に寄与していく。

(1) 海外他友好都市交流事業

(2) 観光団交流事業

(一社)旭川観光コンベンション協会とは、各年で訪問交流を行っている。令和6年度は、旭川市が本市に来宮予定。

公2. 観光客受入体制関連事業

1. 観光客受入事業

国内観光客やインバウンド観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供し、周辺の観光地や施設との連携を図りながら利便性や周遊性の向上に努める。また、観光客のニーズを捉え受入体制の充実を図るため、観光関係者向けに資質向上やスキルアップのための研修会を開催する他、来宮した観光客や急激に増加傾向にあるインバウンド観光客に対して、時代に即した各種サービスの充実に努める。

(1) 渚の交番整備・運営事業

青島海水浴場管理棟を平成21年(2009年)に改修し、平成22年(2010年)6月から渚の交番として開設し14年が経過した。青島の旧橘ホテル跡地に完成した、青島ビーチヴィレッジや周辺観光施設と協創を図り、青島エリアの滞在型観光を促進し、マリンスポーツやアクティビティの拠点として、受入環境を整えとともに、賑わい創出に努める。令和4年度に建物をリニューアルし、施設の滞在力も高まってきたことから、これまで以上に利用者のニーズに対応した様々な企画を実施し、青島エリアにおける地域観光のハブとしての地位を確立するために、さらなる受入体制の充実を図りながら、稼げる渚の交番を強力に推進する。

(2) レンタサイクル事業

令和2年(2020年)レンタサイクルのサイクルポートをKITENビル横から、宮崎駅東口に移設し貸出環境の利便性が向上したことやコロナ後の観光動向により、レンタサイクル利用者が増加している。今後もレンタサイクル利用者増を図るため、さらなる利用促進につながる企画を実施するとともに利用者の回遊性の向上に努める。

(3) 宮崎WORK&STAY推進事業

ワーケーションの誘客に向けて宮崎の強みであるマリンスポーツ、マウンテンスポーツ、ゴルフなどのレジャーを取り入れたプランを推進する。また、MICE会場として宮崎を選んでもらうため、ニシタチの「人情横丁」に店を構える18店舗とメイン通りを一体的に貸切る「人情横丁貸切プラン」やーツ葉エリア、青島エリアでも滞在力を高める商品開発・販売を行う。

(4) 観光インフォメーション管理運営事業

宮崎市観光案内所

令和2年(2020年)10月のリニューアルオープン後、時代とともに変化している観光サービスに柔軟に対応しさらなる機能充実を図るため、観光客のニーズを的確に捉えた各種サービスの拡充に努める。地域イベントのチケット販売など、観光地の情報発信だけでなく、広域情報拠点として周遊性の向上を促進する。

また、職員のスキル向上のため各種研修会に参加し、きめ細やかな対応でインバウンドにも貢献できるように、顧客満足度の向上と各種サービスの拡充に努める。

(5) 観光従事者研修会

(6) コインロッカー運営事業

(7) 神話・観光ガイド支援事業

おもてなしボランティア事業 青島観光インフォメーション事業

2. 観光イベント推進事業

観光客をターゲットに、南国ムードを生かした、魅力ある宮崎の観光資源を活用したイベントの開催や新たな誘客素材の掘り起こしと開発を行う。プロモーション事業とも連携を図り、具体的な誘客に繋がる仕組みを構築し事業の展開を図る。また、新たな観光資源の開発や各種観光行事等の主催団体に対して、補助金等の助成を行い地域活性化に努める。

宮崎への旅の動機付けを喚起させ観光誘客を図るため、宮崎の魅力ある食のプロモーションを継続的に行い、「宮崎ぎょうざ」の定着や「伊勢えびロードスタンプラリー」コンテンツのPR活動に取り組む。また魅力ある新たな食の発信を探索し、観光誘客の起爆剤となるような食のPR活動を手助けしていく。

(1) 女子硬式野球大会「みやざきブーゲンビリアカップ」

令和3年度より本市で開催している女子硬式野球大会。

今まで以上に関係事業者との連携を図り、スムーズな大会運営に努め本市の誘客に繋げる。また、大会中は、様々なイベントを開催し女子野球人口の拡大に寄与する。

(2) みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

口蹄疫の翌年平成23年(2011年)から始まった本イベントは、宮崎の夏の風物詩として定着している。県内外の観光客のみならず県民・市民からも愛されるイベントとして、17日間のロングランで開催する。

本イベントを夏の滞在力を高める誘客素材として活用するとともに、期間中は中心市街地や周辺施設と連携した誘客促進にも努め、県内外からの誘客を図る。

期 間：令和6年8月2日～18日

場 所：フローランテ宮崎

(3) フラおもてなし推進事業

宮崎ブーゲンビリア空港や各種MICE会場にて観光客やMICE参加者等に対してフラを披露し、「フラのメッカ宮崎」としての認知度を向上させる。

(4) 新規事業開発事業

本市の観光産業の推進や新たな観光素材の掘り起こしを行う。

地域資源の再編集による魅力向上を目指し、会員と連携を図ることで、新たな事業の展開や本市の観光産業の確立を行う。また、観光客のニーズが多様化する中で持続可能な観光経営に努め、時代のニーズを常に意識し柔軟な姿勢で事業開発を行う。

宮崎市観光案内所の来場者増の一助として、本市の魅力を県内外に知ってもらうために、令和5年度より企画開発中の宮崎特産品等が当たる「(仮称)宮崎満喫ガチャ」について、他にはない本市の魅力が詰まったオリジナルガチャの開発に努め、本市観光案内所での設置を目指す。

- (5) みやざき青島国際ビールまつり
- (6) 行事負担金
- (7) フラおもてなし推進事業
- (8) みやざきふるさと食材アピール事業

3. スポーツ観光受入事業

プロ野球やJリーグなどの宮崎キャンプ期間中の円滑なキャンプ受入環境を整備し、宮崎キャンプの継続実施を図る。

キャンプ観戦の観光客の周遊性や利便性の向上に努め、渋滞緩和等のため交通体制の整備や観光客の満足度を高める取り組みを行う。また、市内各所で、歓迎ムードを高め、賑わい創出に努める。プロスポーツの受け入れ態勢を充実させ、キャンプ地宮崎を全国に発信し、さらなる「スポーツランドみやざき」の推進と、本市のイメージアップを図る。

(1) 福岡ソフトバンクホークス公式戦開催支援事業

「福岡ソフトバンクホークス公式戦 ファイト！九州デー」が本市で3年連続で開催される。県外からの誘客に繋がるため本公式戦への支援を行う。

本公式戦を通じて、キャンプ地みやざきを全国に発信するとともに、スポーツランドみやざきの推進を図り、県内外からの集客に努める。

カード：福岡ソフトバンクホークス VS オリックス・バファローズ

期 日：令和6年5月11日 ※13時試合開始

場 所：ひなたサンマリスタジアム宮崎

(2) キャンプ受入事業

読売巨人軍宮崎キャンプ受入事業

福岡ソフトバンクホークス宮崎キャンプ受入事業

オリックス・バファローズ宮崎キャンプ受入事業

本市では、温暖な気候と充実したスポーツ施設を生かし、プロ野球3球団の春季キャンプ等の受入を行っている。1つの市で3球団がキャンプを行うのは全国的にも本市だけである。

宮崎キャンプの話題性と3球団のキャンプ地の周遊性の向上を図るとともに、十分な警備体制や臨時駐車場設置等の環境づくりに努めながら利便性の向上と誘客効果を高める。

(3) スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

スポーツ等合宿受入支援事業

本市のスポーツに適した気候や充実した施設環境を全国に発信し、本市で合宿を行うプロ・アマスポーツ団体に継続して合宿を実施してもらえよう、宮崎の特産品の贈呈や宿泊補助、貸切バスの経費補助を行う。さらにはスポーツ等合宿誘致セールスをはじめ新たな団体の誘致を強化し、スポーツランドみやざきのさらなる推進に努め、地域経済の活性化と本市への誘客に繋げる。

(4) みやざきゴルフパラダイス事業

11月に開催される「ダンロップフェニックストーナメント」「JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ」の2大トーナメント、3月に開催される「アクサレディスゴルフトーナメント」など各トーナメントと連携しながら「宮崎＝ゴルフ」のイメージアップを図る。

本市のゴルフ環境の良さを、SNS等を活用して国内外にアピールするとともに、新たなゴルフ客向けに宮崎ブランドを構築しゴルフ客の増加に繋がる施策を展開する。トーナメント会場や各ゴルフ場のPRとイベントの開催、ゴルフパックなどの旅行商品の造成、オフシーズンに本市で合宿を行うプロゴルファーへの合宿支援など、通年を通してゴルファーの誘客に努め、スポーツランドみやざきの推進と閑散期の誘客を図る。

(5) 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

プロスポーツイベントが開催されている期間に、観光客やイベント関係者に対し、市内の主要な道路付近等に歓迎看板やバナー、フラッグ等を設置し、イベント期間中の機運醸成及び歓迎ムードの盛り上げを図る。

4. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球やJリーグチームの本拠地においてキャンプ地みやぎきのPRを行い宮崎への誘客を図る。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇る充実したスポーツ施設や全国有数の日照時間・温暖な気候などの恵まれた環境、支援・受入体制を発信し本市への誘致に努める。

(1) キャンプ地みやぎきスペシャルマッチ事業（Jリーグ）

令和6年度はサンフレッチェ広島本拠地にて実施

カード：サンフレッチェ広島 VS ヴィッセル神戸

期 日：令和6年7月5日

場 所：エディオンピースウィング広島

(2) みやぎきスペシャルゲーム開催事業

プロ野球各球団の本拠地で開催される公式戦において観光パンフレットのサンプリングや特産品の抽選プレゼント等を実施し「キャンプ地みやぎき」のPRを行う。

①京セラドーム大阪

本市のスポンサーゲームと宮崎市内の企業団体がキャンプ地みやぎきシリーズとして合同で2試合を開催予定。2日間でオリックス球団への表敬訪問や観光プロモーション、メディアとタイアップしたプロモーションを実施。

カード：オリックス・バファローズ VS 東北楽天ゴールデンイーグルス

期 日：令和6年5月18日 ※14時試合開始

※5月17日はキャンプ地宮崎応援隊を実施予定。

②みずほPayPayドーム福岡

7月5日・6日・7日の3試合をホークス球団が中心となり、「みやぎきスペシャルDAYS」として開催。

本市のスポンサーゲームは1試合。球団への表敬訪問や観光PRを実施。

カード：福岡ソフトバンクホークス VS 東北楽天ゴールデンイーグルス

期 日：令和6年7月6日 ※14時試合開始

③東京ドーム

球団への表敬訪問や観光PRを実施。

カード：読売ジャイアンツ VS 横浜DeNAベイスターズ

期 日：令和6年7月13日 ※14時試合開始

(3) スポーツランド情報発信事業

京セラドーム大阪やみずほPayPayドーム福岡の野球観戦者に「キャンプ地みやぎき」をPRするため、宮崎への誘客促進として、看板やビジョンへの観光情報の掲出・放映を行う。

(4) スポーツセールス事業

5. 少年少女スポーツ大会支援事業

野球やゴルフのスポーツ大会を通じて少年少女たちのスポーツ交歓や交流を図ること、未来を担う子どもたちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行う。

(1) みやぎきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント（少年少女野球大会）

第20回みやぎきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント

プロ野球の受入を中心として構築されてきた“スポーツランドみやぎき”だからこそできる大会を目指し、野球を通じて他県の少年少女の交流を深め、憧れのプロ野球選手が使用するグラウンドでのプレーが大きな目標となり、未来を担う子ども達の健全な育成に寄与することを目的とする

(2) ゴルフパラダイス観光推進事業

収益目的事業

収1. 宮崎ブランド商品魅力発信事業

宮崎の魅力を全国に発信することで、本市の観光プロモーションに繋げ、誘客だけでなく「稼ぐ力」をつける取り組みを推進する。本市の魅力の商品化に繋げる観光事業の展開や新たな観光資源の発掘を目的に様々な事業に取り組む。会員と連携した商品開発展開を強化し、会員一体となった事業推進を図る。

収2. プロ野球公式戦・オープン戦等開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

法人会計

1. 会議の開催
総務企画委員会、理事会、監事会、定時総会等
2. 県内観光協会との連携
3. 観光功労者の表彰
4. 会員管理・交流
5. 職員研修
6. 健康宣言の取り組みと健康経営の取り組み
7. 職員の働きやすい環境づくりの構築

その他関連事業（協力会等）

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会
既存キャンプ1軍球団のキャンプ継続及び期間の長期化、キャンプ期間の実戦形式の練習環境の充実を図るとともに、経済効果を高め、他県でキャンプを実施するチームへも宮崎での練習試合の開催を呼び掛け参加の依頼を行うため、自治体及び関係団体で「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」を構成し開催する。
2. 読売巨人軍宮崎協力会
3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会
4. オリックス・バファローズ宮崎協力会
5. Jリーグ等宮崎協力会
6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会
7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会（当協会と宮崎ライフセービングクラブとのJV）
青島ビーチセンター指定管理業務（第4期）
指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）
 - （1）青島海水浴場管理運営業務
 - （2）青島ビーチ魅力アップ事業
青島ビーチパークの通年営業
「海を身近に感じる暮らし」「多様なビーチスタイルのハブとなるコミュニティ創出」を目指して、シーズンに応じた魅力的な商品提供や様々なイベント等を実施し、年間20万人の集客を目指す。